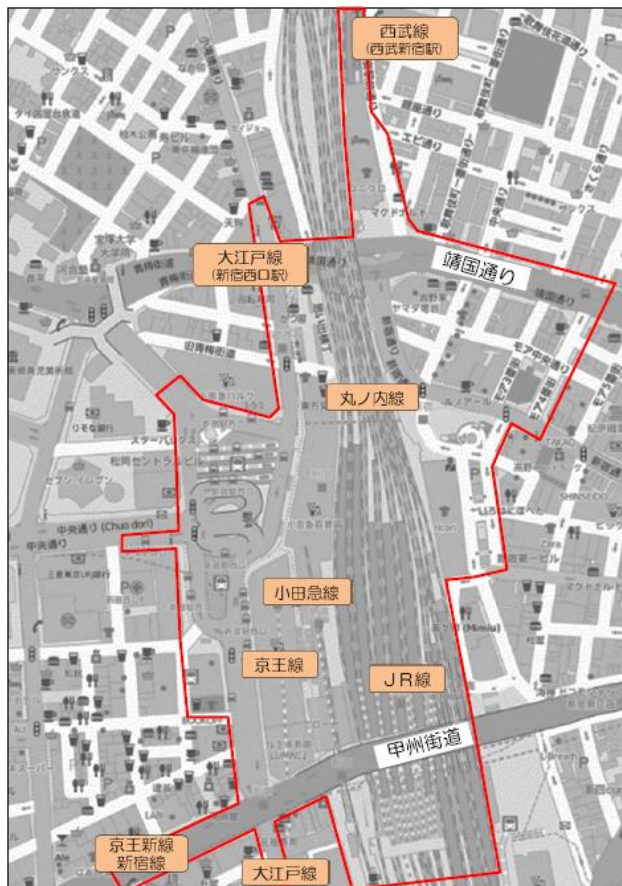


# (参考)新宿駅周辺屋内地図 公開対象範囲

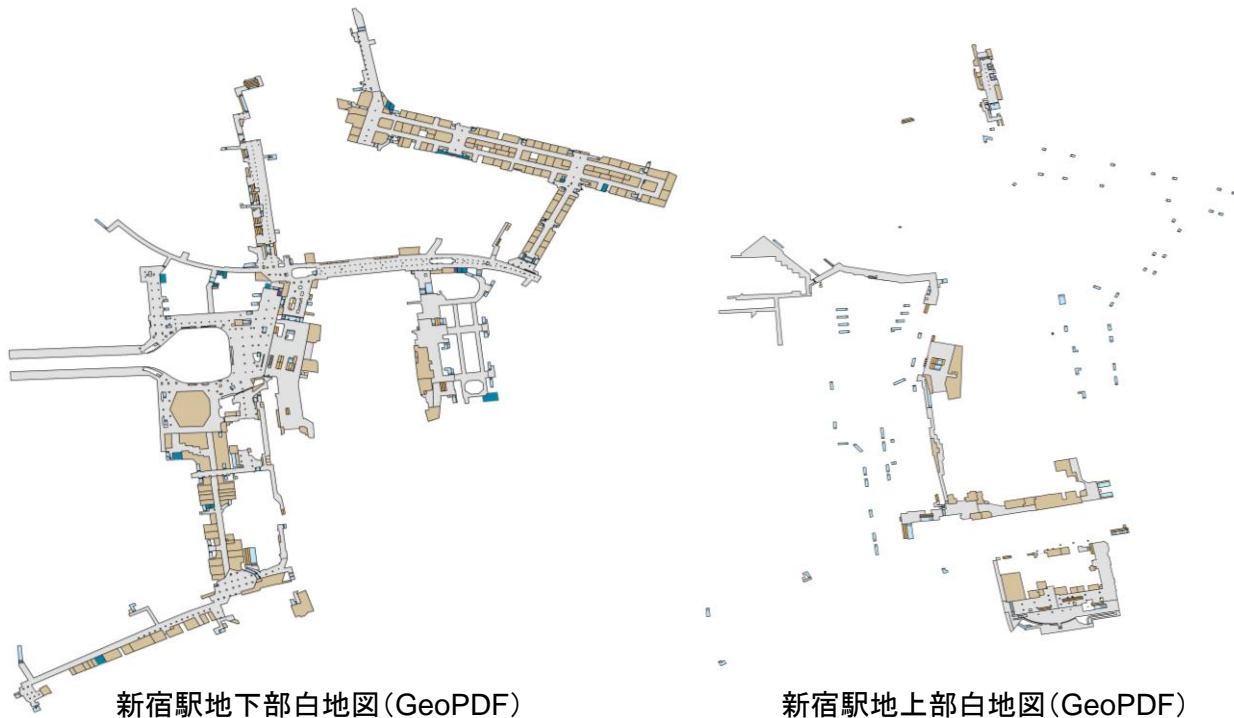
- 新宿ターミナル協議会※が整備するターミナルマップをベースに電子地図を整備

## 整備対象(新宿ターミナル協議会対象範囲)



出典:新宿ターミナル協議会WEBサイト

## 整備した新宿駅周辺屋内地図(GeoPDF)



新宿駅地下部白地図(GeoPDF)

新宿駅地上部白地図(GeoPDF)



バスタ新宿3階白地図(GeoPDF)



バスタ新宿4階白地図(GeoPDF)

※ 新宿ターミナル協議会:新宿駅及びその周辺部を対象として、利用者本位のターミナルの実現に向け、多様な関係者が連携して利便性の向上に取り組むことを目的として、設置された協議会(事務局:東京都及び新宿区)。

- 多様な位置情報サービス提供の基盤となる、屋内電子地図、測位環境、及びそれらを活用したサービス(アプリケーション)の整備促進のため、実証実験等を通じ、これまで以下の取組を実施。
- また、民間事業者主体による多様な位置情報サービスの普及・展開を目指し、推進体制(施設管理者・サービス事業者等・G空間情報センターによる役割分担)の検討・構築を実施。

## 屋内電子地図

- 屋内電子地図の整備事例蓄積(東京駅周辺、新宿駅周辺、成田空港、日産スタジアム)
- 連携業務において階層別屋内地図の標準仕様書を策定  
※国土地理院業務(～H29)

## 測位環境

- 実証を通じ、屋内測位手法の実現性検証、屋内外シームレス測位の技術的検証
- 屋内測位環境構築ガイドライン(骨子案)を策定

## サービス(アプリケーション)

- ジャパンスマートナビを試作・公開(段差のない/少ないルートのナビゲーション、英語対応、iOS対応)
- 民間のアプリベンダーなどに実験環境を公開し、屋内電子地図・測位環境等の評価を実施
- 多様なサービス創出を目指し、アイデアソン/ハッカソンを開催(H27東京駅周辺、H28日産スタジアム)



平成28年度のサービス実証箇所と実証アプリの画面



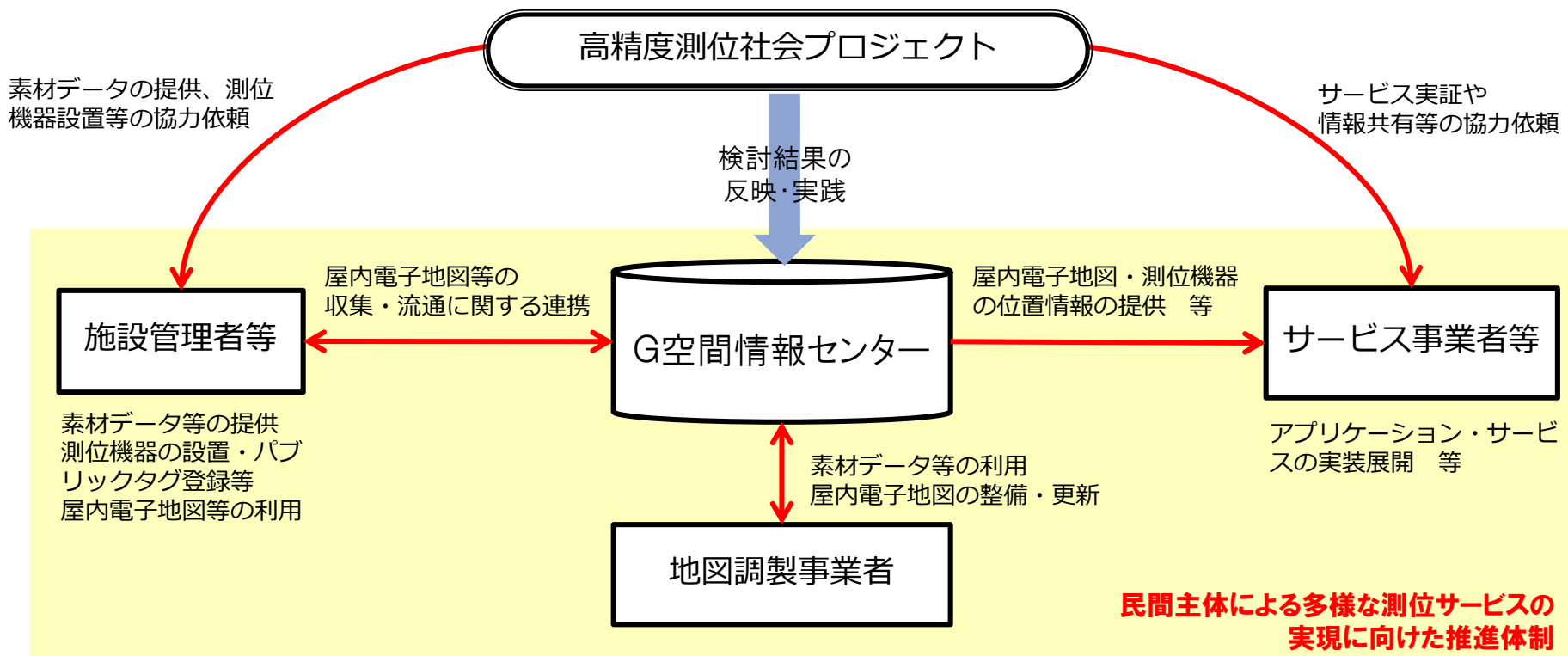
段差情報を踏まえたナビゲーション実証



実証実験で設置したビーコン(例)

# (参考)推進体制を活用した今後の屋内地図整備の方向性

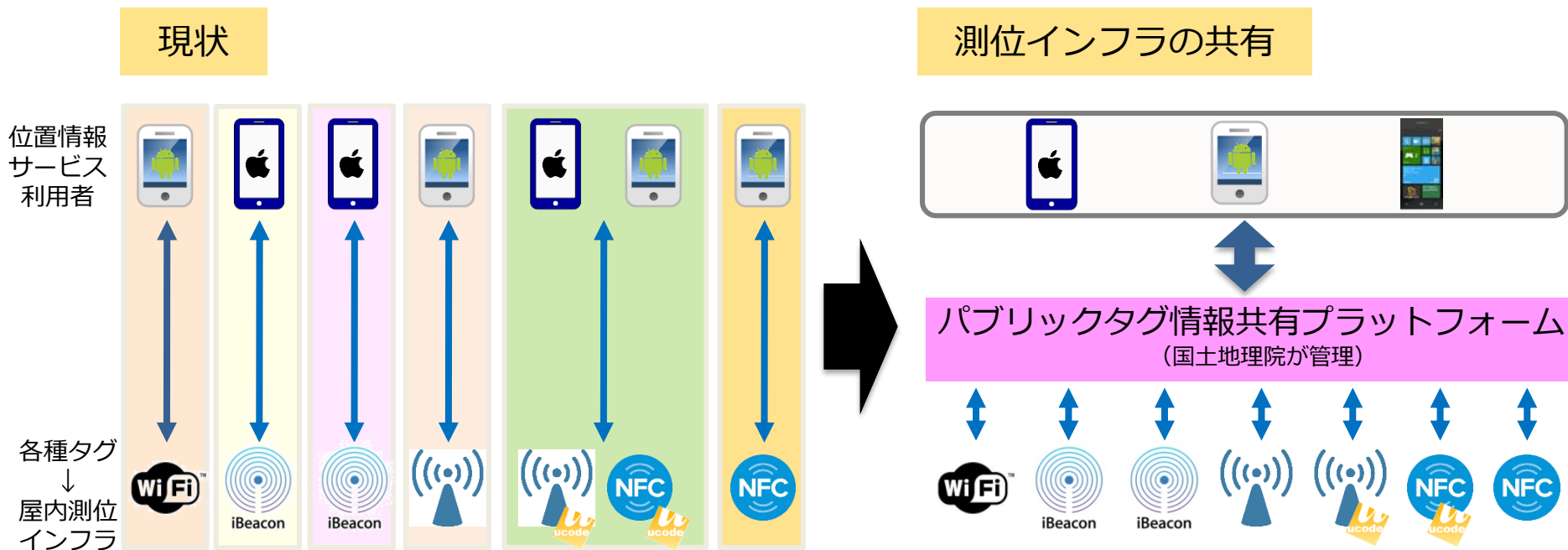
- 屋内での位置情報を活用した多様な民間サービスの実現に向け、屋内電子地図等の整備・流通の推進の中核を担うプラットフォームとして「G空間情報センター※」を位置づけ、施設管理者や地図調整業、サービス事業者などからなる推進体制を構築。
- 産学官連携のもと、実証実験箇所以外についても、素材データの収集・加工、屋内電子地図の利活用などを推進。



※ G空間情報センター：平成28年に稼働が開始された官民間問わず様々な主体により整備・提供される多様な地理空間情報を集約し、利用者がワンストップで検索・ダウンロードし利用できる、産学官の地理空間情報を扱うプラットフォーム。

# (参考)屋内測位のための共通インフラとしてのパブリックタグ

- 国土地理院では、屋内測位のための位置情報基盤として、Wi-Fiやビーコンなど測位機器の位置情報等の共通利用を可能とするため、「パブリックタグ※1」の標準仕様を策定。
- 新宿駅周辺においても、実証実験で設置した175個※2のBLEビーコンをパブリックタグとして、国土地理院が管理する「パブリックタグ情報共有プラットフォーム※3」に登録しオープンデータとして公開中。G空間情報センターでも今後公開予定。



※1 パブリックタグ: 取り付けられている場所などの情報が、所定の形式でデータベースに登録され、オープンデータとして公開されており、スマートフォンなどでその情報を取得、利用可能なBLEビーコンやWi-Fiなどのデバイス。

※2 平成29年7月31日時点において、稼働確認済みのBLEビーコン。

※3 パブリックタグ情報共有プラットフォーム: [https://ucopendb.gsi.go.jp/ucode/field\\_test/index.html](https://ucopendb.gsi.go.jp/ucode/field_test/index.html)